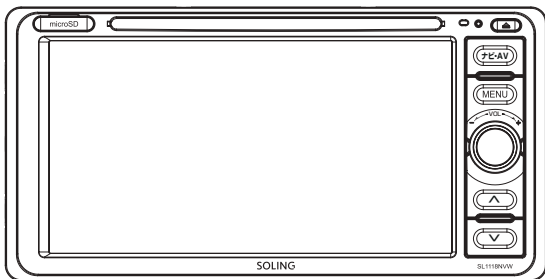




## 取扱説明書

# 6.75型WVGA 2DIN FM/AM/CD/Bluetooth® ナビゲーションシステム

## SL1118NVW



### 保証書別添付

この度は、6.75型 WVGA 2DIN ナビゲーションシステムをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 目次

## お使いになる前に

■ 安全上のご注意	1
■ 本書の見方	4
■ 本機について	6
同梱リスト	6
地図専用 microSD カードについての注意事項	8
パネルのボタンについて	9
電源の ON/OFF	11
MENU 画面の基本操作	11
■ 本機の設定	14

## オーディオ

■ ラジオの使い方	21
■ 音楽DISC プレーヤーの使い方	23
■ USB メモリの使い方	25
■ DTV の使い方	27
■ 外部入力の使い方	31
■ ステアリングスイッチの使い方	32
■ Bluetooth の使い方	34

## ご参考

■ バージョンアップについて	41
■ お手入れ/ご注意	42
本機について	42
GPS アンテナについて	42
DISC について	43
バックカメラについて	43
DTV アンテナについて	43
■ 再生できるディスクとメディアファイル仕様について	45
■ 対応 Bluetooth® 仕様/ファイルについて	46
■ 仕様書	48

## 索引

■ Q&A 索引	49
■ 本書索引	52

## 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


取扱説明書に記載されている注意事項をお守り頂かないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明します。


 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うおそれや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明します。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。


 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。


### 警告

必ず付属の専用電源コードを使用してください。別のコードを使用した場合、故障に繋がります。


**必ず規定容量のヒューズを使用する  
また、交換は専門技術者に依頼する**

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。  
(規定容量：15A)


**運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない**

 **禁止** 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。


**取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない**

 **禁止** ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。


**運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない**

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**

 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

**コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す**

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

## 安全上のご注意（つづき）

### ⚠ 警告（つづき）

#### 車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

#### DC12Vマイナスアース車で使用する



DC 12V マイナスアース車専用です。上記以外のお車には使用出来ません。火災や故障の原因となります。

#### 故障や異常のまま使用しない



煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

#### 禁止

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

#### 分解や改造はしない



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

#### 分解禁止

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

#### キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない



あやまって、飲み込むおそれがあります。万が一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

#### 禁止

#### 機器内部に水や異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

#### 禁止

#### 大きな音量で使用しない



車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

#### 禁止

#### 指示に従って正しく配線・取り付けを行う



説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

#### 使用しないコードの先端などは、絶縁する



被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

#### 配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子を外しておく



バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

## 安全上のご注意 (つづき)

### ⚠ 警告 (つづき)

#### 本機の通風口を塞がない



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

#### 配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

- 安全のため、買い上げの販売店にご依頼ください。

#### 車載用以外には使用しない



車載用以外 (例えばレジャーボートやアウトドアなど) に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

禁止

#### 強い衝撃を与えない



落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

禁止

#### コードをかみませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

#### 必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

#### 高温になる場所などに取り付けない



直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

禁止

#### 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

禁止

#### 振動の多いところや不安定な場所に取り付けない



傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

## セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

### ● ステアリングスイッチの使い方

メインメニューで「設定」ボタンをタッチして、本体設定画面が表示されます。本体設定画面で「その他」ボタンをタッチして、右側にリストが表示されます。リストで「ステアリングスイッチ」の右の「設定」ボタンをタッチすると、ステアリングスイッチの設定画面に入ります。

ステアリングスイッチの動作を手動で機能を割り当て、本機に記憶させることができます。

## 操作画面名称

### ● ステアリングスイッチの設定画面



## 操作画面

操作する画面を表示しています。

## 画面表示

操作画面中に表示されている内容を説明しています。

- 1 時刻表示  
現在の時刻が表示されます。
- 2 戻るボタン  
タッチすると、メインメニューに戻ります。
- 3 状態/手順表示  
ステアリングスイッチを設定していない場合、「ステアリングスイッチ OFF」という状態を表示します。「開始」ボタンをタッチすると、手順を表示します。
- 4 戻るボタン  
タッチすると、前の画面に戻ります。
- 5 開始ボタン  
タッチすると、ステアリングスイッチの設定を開始します。手順に従って設定してください。

## 操作手順

操作の内容です。数字の順に操作してください。

- 6 設定手順
  - ① 本機をステアリングコントロール線に接続します。
  - ② ステアリングスイッチ設定画面に入ります。
  - ③ 「開始」ボタンをタッチすると、機能ボタンが明るく表示されます。
  - ④ 画面で表示された手順に従って、設定したい機能のボタンを画面でタッチします。
  - ⑤ 画面で表示された手順に従って、ステアリング側で対応しているボタンを押します。
  - ⑥ 設定が完了します。

**項目タイトル**  
項目タイトルを  
表示しています。

## Bluetoothの使い方(つづき)

### Bluetooth 設定画面

Bluetooth モードの画面で「Bluetooth 設定」ボタンをタッチすると、Bluetooth 設定画面が表示されます。

Bluetooth 設定画面



### 詳細追加

工場出荷状態や数値などを説明しています。

- 1 自動応答ボタン  
タッチするたびに、自動応答をオン/オフ設定します。  
● (工場出荷時：ON)
- 2 自動接続ボタン  
接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機が自動的に Bluetooth デバイスへの再接続を実行します。(工場出荷時：ON)
- 3 マイク音量ボタン  
本機のマイクの音量を調整します。

### ご注意

操作に関連することなどを記述しています。

#### ⚠ ご注意

※ 本機のスピーカー音量を調整する機能はありません。本機のスピーカー音量を調整する時は、音量調整ボタンを使ってください。

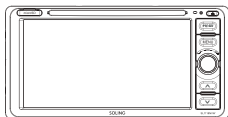
- 4 バージョン  
Bluetooth のバージョン情報を表示します。

## 本機について

### 同梱リスト

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店又は購入先までご連絡ください。

#### ■メモリーナビゲーション本体



#### ■取扱説明書



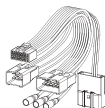
#### ■ナビゲーション専用取扱説明書



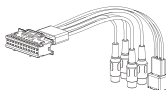
#### ■保証書



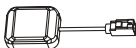
#### ■電源ケーブル



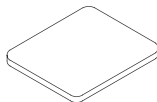
#### ■AV入力ケーブル



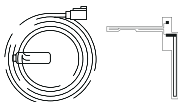
#### ■GPS アンテナ



#### ■GPS アンテナ固定用両面テープ



#### ■DTV アンテナ



#### ■地図専用microSD カード

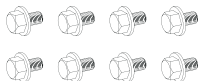




## 本機について(つづき)

---

### ■取り付けネジ(8本)



## 本機について(つづき)

---

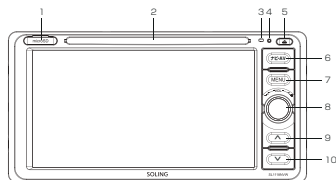
### △ 使用のご注意

#### 地図専用 microSD カードについての注意事項

- 本体に内蔵している地図専用 microSD カードリーダーは地図専用カードリーダーとなりますので、メディアを再生することはできません。
- 本体に付属している microSD カードは地図専用となりますので、音楽・ビデオなど、お客様のデータを書き込まないでください。  
また絶対に中のデータを消去しないでください。
- 本機を起動している間は、地図専用 microSD カードを絶対に抜かないでください。地図専用 microSD カードを抜いた場合の動作は保証できません。
- 地図専用 microSD カードは直射日光のあたる場所など、高温になる場所に置かないでください。  
故障や変形の原因となることがあります。
- 地図専用 microSD カードの端子に、手や金属で触れないでください。故障の原因となることがあります。

## 本機について(つづき)

### パネルのボタンについて



- 1** micro SD カード挿入口  
蓋を左から丁寧に引っ張った後、地図専用micro SDカードを挿入してください。  
※ 更新作業以外は抜き差しをしないでください。
- 2** DISC 挿入口  
DISC の挿入口です。  
※ DISC を挿入する前に、本体上部の運送ネジを取り外してください。  
※ 運送用固定ネジが装着されている状態では、DISC を挿入する事ができません。
- 3** マイク  
ハンズフリー時に周囲の音声を集音します。
- 4** リセット穴  
先端が尖るものでこの穴を押すと、工場出荷状態（初期化）に戻ります。  
※ナビゲーション設定と TV 設定は初期化されません。
- 5** イジェクトボタン  
このボタンを押すと、DISC を取り出せます。
- 6** ナビ・AV ボタン  
押すと、ナビの現在地画面が表示されます。  
ナビモードで長押しすると、現在の AV ソース画面が表示されます。
- 7** MENU ボタン  
押すと、メインメニューに戻ります。  
※Bluetooth 通話時とバックカメラ画面の時にはメインメニューに戻りません。
- 8** 左右へまわすと、音量の調整ができます。  
押すとミュートになります。再度押すとミュートが解除できます。

## 本機について(つづき)

---

### 9 前へボタン

- ・DTVモード  
押すと、前のチャンネルに戻ります。  
※チャンネルスキャン時とリセット時のご利用になれません。
- ・DISCモード/USB AUDIOモード  
再生が5秒内に短押しすると、前の曲に戻ります。5秒後(5秒含み)に短押しすると、再生中の曲を初めから再生します。5秒後(5秒含み)、前の曲に戻りたい場合、一度始めに戻ってから再度短押ししてください。長押しすると、早戻りができます。  
※切替速度：×2、×4、×8、×16
- ・FM/AMモード  
短押しすると、プリセットリストの中で前の放送局に戻ります。  
長押しすると、現在の周波数より低い周波数のチャンネルを自動的に検索します。
- ・Bluetoothモード  
Bluetooth AUDIOモードで短押しすると、前の曲に戻ります。

### 10 次へボタン

- ・DTVモード  
押すと、次のチャンネルに進みます。  
※チャンネルスキャン時とリセット時のご利用になれません。
- ・DISCモード/USB AUDIOモード  
短押しすると、次の曲に進みます。長押しすると、早送りができます。  
※切替速度：×2、×4、×8、×16
- ・FM/AMモード  
短押しすると、プリセットリストの中で次の放送局に進みます。  
長押しすると、現在の周波数より高い周波数のチャンネルを自動的に検索します。
- ・Bluetoothモード  
Bluetooth AUDIOモードで短押しすると、次の曲に進みます。

## 本機について(つづき)

### 電源の ON/OFF

- 1 電源を入れる  
イグニッションキーを [ ACC ] または [ ON ] にすると、電源が ON になります。  
電源が ON になってから、オープニング画面が表示され、メインメニュー、地図またはオーディオ画面などが表示されます。  
※2 回目に本機を起動する時は、前回電源を切る前のモードから始まります。
- 2 電源を切る  
イグニッションキーを [ OFF ] にすると、電源が OFF になります。  
※電源を切る時には、音量を最小にしてください。電源 ON 時に大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。

### MENU 画面の基本操作

メインメニュー画面



## 本機について(つづき)

メインメニュー内のボタンをタッチすると、タッチしたモード画面が表示されます。

### NAVI

ナビゲーションモードを表示します。

1



### FM/AM

ラジオモードを表示します。

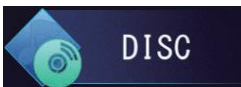
2



### DISC

DISC モードを表示します。  
ディスクを入れていない場合、文字表記が暗くなり、タッチしても動作しません。

3



### USB AUDIO

USB オーディオモードを表示します。  
デバイスと接続していない場合、文字表記が暗くなり、タッチしても動作しません。

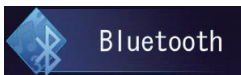
4



### Bluetooth

Bluetooth モードを表示します。  
デバイスと接続していない場合、文字表記が暗くなり、タッチしても動作しません。

5



### AUX

外部入力に接続されているオーディオの画面が表示されます。  
外部入力機器と接続していない場合、「AUX」と画面で表示されます。

6



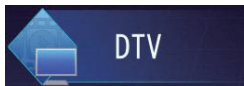
## 本機について(つづき)

---

### DTV

7

テレビモードを表示します。  
DTV信号が入力されていない場合、  
「受信できません」と表示されま  
ず。



### 設定

8

設定メニュー画面を表示します。



## 本機の設定

### 全般

メインメニューの「設定」ボタンをタッチして、本体の設定画面に入ります。設定画面で「全般」をタッチすると、全般設定画面が表示されます。

全般設定画面



#### 1 時間

本体の時間を調整します。右側の時間をタッチして、時間設定できます。時/分の順番で、▲ボタンまたは▼ボタンをタッチして調整します。設定が終わってから「設定」ボタンをタッチして保存します。

※ GPS時間同期が OFF の場合のみ調整できます。

#### 2 操作音

「ON」または「OFF」をタッチして、キーの操作音のオン/オフができます。  
(工場出荷時：ON)

#### 3 壁紙

壁紙を設定します。

壁紙設定画面





## 本機の設定(つづき)

---

「Image1」～「Image6」のリストから選択します。

リストの項目をタッチするとプレビューが表示されます。

リストは ▲ または ▼ ボタンをタッチするかドラッグ（タッチしたままスライド）し、表示を切り替えます。

好みの画像を壁紙にできます。画像の入った USB を接続し、「ユーザー壁紙」ボタンにタッチし、「インポート」ボタンにタッチします。USB に入っている画像がリスト表示されるので、好みの画像を選択し「決定」ボタンにタッチします。

「決定」ボタンをタッチして設定を確定するか、「戻る」ボタンをタッチして保存せずに終了します。

(工場出荷時：Image1)

※本機のユーザー壁紙に設定できる画像の条件は以下になります。

ファイル形式：JPG

タイトル名：半角英数字


画素：1920×1080 以下

### 4 電話音声出力

「左」ボタンまたは「右」ボタンをタッチして、音声出力を切り替えます。

### 5 バージョン

右側の「表示」ボタンをタッチして、本機のソフトウェアの情報が表示されます。

 ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。

## 本機の設定(つづき)

### オーディオ

メインメニューの「設定」ボタンをタッチして、本体の設定画面に入ります。  
設定画面で「オーディオ」をタッチすると、オーディオ設定画面が表示されます。

オーディオ設定画面



- 1 BALANCE**  
◀ボタンまたは▶ボタンをタッチして、左右スピーカーのバランスを調整します。  
(数値：L1~L9；0；R1~R9)
- 2 FADER**  
◀ボタンまたは▶ボタンをタッチして、前後スピーカーのバランスを調整します。  
(数値：F1~F9；0；R1~R9)
- 3 BEAT EQ**  
EQ (イコライザー)設定は P18 を参照してください。
- 4 タイムアライメント**  
右側の「設定」ボタンをタッチして、タイムアライメント設定画面に入ります。

## 本機の設定(つづき)

### タイムアライメント設定画面



「+」ボタンまたは「-」ボタンをタッチして、車内各席の音声の到達時間を調整することができます。調整ができた後、4.4の戻るボタンをタッチすると、調整内容が保存されて前の画面に戻ります。

※到達時間はms(ミリ秒)を単位として調整されます。

4.1 タッチすると、Front Lch 時の各座位の音声の遅延時間が表示されます。

4.2 タッチすると、Front Rch 時の各座位の音声の遅延時間が表示されます。

4.3 タッチすると、Front 時の各座位の音声の遅延時間が表示されます。

4.4 タッチすると、前の画面に戻ります。調整した遅延時間が保存されます。

※タイムアライメント設定画面で調整できてから、「初期化」ボタン、「FRONT Lch」ボタン、「FRONT Rch」ボタン、「FRONT」ボタンをタッチすると、出荷状態に戻ります。  
(工場出荷時：FrontL：0 FrontR：0 RearL：0 RearR：0)

#### 5 LOUDNESS

「ON」または「OFF」をタッチして、低音ブーストを ON/OFF にします。

(工場出荷時：LOUDNESS ON)

## 本機の設定(つづき)

### EQ (イコライザー) 設定

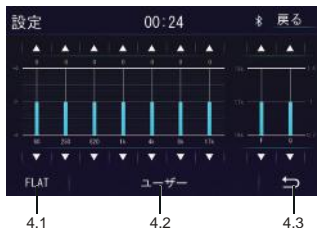
本体の設定画面で「オーディオ」をタッチします。  
オーディオ設定画面で「BEAT EQ」の右側の「設定」ボタンをタッチして、EQ 設定画面に入ります。

EQ 設定画面



- 1 タッチすると、メインメニューに戻ります。
- 2 設定された音響効果を表示します。
- 3 標準の音響効果を表示します。お好みの音響効果タッチして選択します。
- 4 カスタマイズ  
「ユーザー」ボタンをタッチすると、カスタム画面が表示されます。

カスタム画面



- 4.1 ▲ボタンまたは▼ボタンをタッチして、カスタマイズすることができます。
- 4.2 タッチすると、「FLAT」の音響効果に切り替わります。
- 4.3 タッチすると、前の画面に戻ります。カスタマイズした内容を保存されて、前の画面で表示されます。
- 5 タッチすると、カスタムの内容が保存されて前の画面に戻ります。

## 本機の設定(つづき)

### 画面



#### 1 ディママー

ディママーモードを選択できます。右側の◀ボタンまたは▶ボタンをタッチして、「昼」/「夜」/「自動」を切り替えます。

昼：ライト ON/OFF にかかわらず昼の明るさに固定

夜：ライト ON/OFF にかかわらず夜の暗さに固定

自動：ライト ON/OFF に連動します

(工場出荷時：自動)

#### 2 明るさ

「+」ボタンまたは「-」ボタンをタッチして、明るさを調整できます。(数値：0~20)

(工場出荷時：20)

### ナビ



#### 1 GPS 時間同期

GPS 時間同期の ON/OFF を設定します。

「ON」：オンにすると GPS の時間が反映されますので、ナビ画面での時計と本体での時計が同じ時刻で表示されます。

「OFF」：本体の時計を GPS と同期しません。独立して時計設定ができます。

(工場出荷時：ON)

※初めて使用する時は、ナビゲーションモードで GPS の受信が完了すると、自動的に時間が同期されます。

## 本機の設定(つづき)

### 2 音声案内

◀ボタンまたは▶ボタンをタッチして、音声案内の ON/MIX/OFF を設定します。

「ON」：音声案内時、オーディオの出力をせず発話します。

「MIX」：音声案内時、オーディオも同時に出力します。

「OFF」：音声案内はしません。

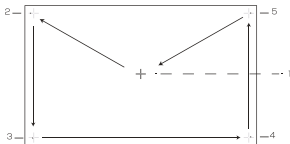
(工場出荷時：ON)

### その他

#### 1 タッチパネル調整

右側の「設定」ボタンをタッチして、「実行」を選択してからタッチパネル調整画面が表示されます。

タッチ座標の十字ポイントの中心を約2秒タッチすると、位置2に移動します。位置2で再度十字ポイントの中心を約2秒間タッチすると、位置3に移動します。位置3、位置4、位置5で同じ動作を繰り返します。タッチの調整が完了すると、十字ポイントの表記がきえますので、その後画面をタッチして設定画面に戻ります。



※ 調整完了するまでに、上記動作を数回繰り返すことがあります。

#### 2 ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチの使い方は P32 を参照してください。

#### 3 接続チェック

右側の「チェック」ボタンをタッチして、GPS 受信状態やイルミネーションなどの状態をチェックして表示します。

チェック項目：GPS 受信状態、イルミネーション、パーキングブレーキ、スピードセンサー、ジャイロセンサー

#### 4 出荷状態に戻す

設定部分を初期化します。右側の「設定」ボタンをタッチして「実行」を選択すると、初期化します。

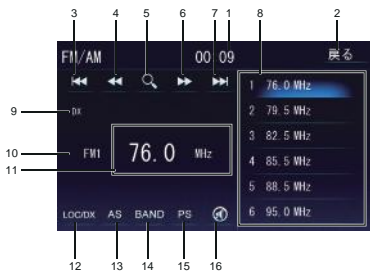
#### ⚠ ご注意

※ テレビの初期化はできません。テレビの初期化は、テレビモードの設定画面で行ってください。

## ラジオの使い方

メインメニューの「AM/FM」ボタンをタッチすると、ラジオモード基本画面が表示され、ラジオを受信します。

ラジオモード基本画面



- 1 時間表示**  
現在の時間が表示されています。
- 2 戻るボタン**  
タッチすると、メインメニューに戻ります。
- 3 シークダウンボタン**  
タッチすると、低い周波数切り替えます。。タッチするたびに、周波数が FM は 0.1 ステップ、AM は 9 ステップで変化して選局できます。
- 4 このボタンをタッチすると、現在より低い周波数を自動的にスキャンします。**
- 5 クイックサーチボタン**  
タッチすると、お好みの周波数を直接入力してスキャンします。入力した数をキャンセルしたい場合、「修正」ボタンをタッチしてください。入力できた後、「決定」ボタンで決定します。「戻る」ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。  
※ AM : 522kHz ~ 1629kHz  
※ FM : 76MHz ~ 95MHz
- 6 このボタンをタッチすると、現在より高い周波数を自動的にスキャンします。**
- 7 シークアップボタン**  
タッチすると、高い周波数に切り替えますタッチするたびに、周波数が FM は 0.1 ステップ、AM は 9 ステップで変化して選局できます。
- 8 プリセットリスト**  
リストにプリセットされた放送局 (1 ~ 6) をタッチして選局できます。

## ラジオの使い方(つづき)

---

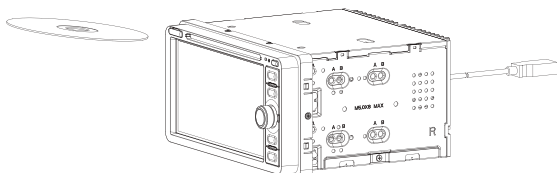
- 9 モード表示  
選択しているモードを表示します。
- 10 受信中 BAND 表示  
選択しているバンドを表示します。
- 11 受信周波数表示  
受信中の周波数を表示します。
- 12 LOC/DX ボタン  
このアイコンで LOC/DX を選択できます。  
自動検索で電波が強く、希望の放送局を選局しづらい場合は LOC を選択してください。  
自動検索で電波が弱く、検索ができない場合はDX を選択してください。  
Local: Local 状態でラジオチャンネルを検索すると、ノイズの多いラジオチャンネルを無視して信号の強いチャンネルだけを検索できます。  
DX: DX 状態でラジオチャンネルを検索すると、ノイズの多いラジオチャンネルも検索しますので、検索できるチャンネル数は Local よりも多くなります。  
(工場出荷時: DX)
- 13 AS (オートストア) ボタン  
タッチすると、周波数を自動的にスキャンします。
- 14 BAND ボタン  
タッチすると、バンドが切り替わります。  
※バンド: FM1/FM2/FM3/AM1/AM2
- 15 プリセットスキャンボタン  
タッチすると、プリセットリスト中の放送局(1~6)を一つずつ5秒ほどスキャンして放送します。
- 16 ミュートボタン  
タッチすると、ミュートします。



## 音楽DISCプレーヤーの使い方

メインメニューで「DISC」ボタンをタッチして、DISC 再生画面に入ります。

※DISCを挿入する際は、斜め上から少し角度（7°）をつけた状態で挿入して下さい。  
機構上、水平では挿入できません。



DISC 再生画面



- 1 時間表示**  
現在の時間を表示します。
- 2 戻るボタン**  
タッチすると、メインメニューに戻ります。
- 3 前へボタン**  
再生が5秒内にタッチすると、前の曲に戻ります。5秒後(5秒含み)にタッチすると、再生中の曲を初めから再生します。5秒後(5秒含み)、前の曲に戻りたい場合、一度始めに戻ってから再度タッチしてください。  
タッチし続けると、早戻しができます。  
切替速度：×2、×4、×8、×16

## 音楽 DISC プレーヤーの使い方(つづき)

---

- 4 再生/一時停止ボタン  
再生中タッチすると一時停止になります。再度タッチすると、再生を開始します。
- 5 次へボタン  
再生中に次へボタンをタッチすると、次の曲に進みます。  
タッチし続けると、早送りができます。  
切替速度：×2、×4、×8、×16
- 6 フォルダーボタン  
タッチすると、上位のフォルダーに戻ります。  
※DISCにより、上位のフォルダーに戻らないことがあります。
- 7 DISC に保存されている曲/フォルダーのリストが表示されます。
- 8 リスト切り替えボタン  
タッチすると、表示リストのページが切り替わります。  
※表示リストは 2 ページ以上ある場合、切り替わります。
- 9 スライドバー  
タッチしたまま移動すると、リストがスクロールして表示されます。  
※表示リストは 2 ページ以上ある場合、切り替わります。
- 10 再生中の曲の情報が表示されます。
- 11 シークバー  
再生中の DISC の時間情報が表示されます。
- 12 再生経過時間
- 13 情報表示  
再生中のディスクの情報が表示されます。
- 14 再生所要時間
- 15 リピートボタン  
このボタンをタッチするたびに、一曲リピート、全リピートの切り替えができます。  
※フォルダーが存在している DISC の場合、一曲リピート、全リピート、フォルダー  
リピートの切り替えができます。
- 16 ランダムボタン  
このアイコンをタッチするとトーンアップ (ランダム ON) し、トラックのランダム再  
生が開始されます。もう一度タッチするとトーンダウン (ランダム OFF) しランダム  
再生を解除します。
- 17 クイックサーチボタン  
タッチすると、ダイレクト検索ができます。再生したいトラック番号を入力して「決定」  
ボタンをタッチすると、指定したトラックを再生します。検索をやめて前の画面に戻  
りたい場合、左下の「戻る」ボタンをタッチしてください。
- 18 ミュートボタン  
タッチすると、ミュートします。

## USBメモリの使い方

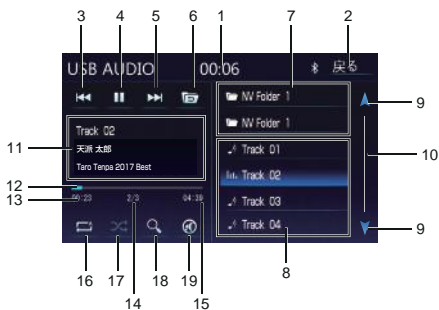
メインメニューで「USB AUDIO」ボタンをタッチして、USBメモリの再生画面に入ります。

※USBメモリを取り外すときは、オーディオソースをUSB以外に変更ください。

USBメモリのデータが破損するおそれがあります。

※曲名等が文字化けする場合はフリーのタグ編集ソフト等でタグの文字コードを UTF-6 または UTF-16 に変更して下さい

### USBメモリの再生画面



- 1 時間表示**  
現在の時間が表示されます。
- 2 戻るボタン**  
タッチすると、メインメニューに戻ります。
- 3 前へボタン**  
再生が5秒内にタッチすると、前の曲に戻ります。5秒後(5秒含み)にタッチすると、再生中の曲を初めから再生します。5秒後(5秒含み)、前の曲に戻りたい場合、一度始めに戻ってから再度タッチしてください。  
タッチし続けると、早戻しができます。  
切替速度：×2、×4、×8、×16
- 4 再生/一時停止ボタン**  
再生中タッチすると一時停止になります。再度タッチすると、再生を再開します。
- 5 次へボタン**  
再生中に次へボタンをタッチすると、次の曲に進みます。  
タッチし続けると、早送りができます。  
切替速度：×2、×4、×8、×16

## USBメモリの使い方(つづき)

---

- 6 フォルダーボタン  
タッチすると、上位のフォルダーに戻ります。  
USBデバイスにより、上位のフォルダーに戻らないことがあります。
- 7 フォルダー/ファイルリスト  
フォルダー/ファイルリストが表示されます。
- 8 曲のファイルのリストが表示されます。
- 9 リスト切り替えボタン  
タッチすると、表示リストのページが切り替わります。  
※表示リストは2ページ以上がある場合、切り替わります。
- 10 スライドバー  
タッチしたまま移動すると、リストがスクロールして表示されます。  
※表示リストは2ページ以上がある場合、切り替わります。
- 11 再生中のトラックについての情報が表示されます。
- 12 時間バー  
再生中のトラックの時間情報が表示されます。
- 13 再生経過時間
- 14 再生中の曲目/全体の曲数が表示されます。
- 15 再生所要時間
- 16 リPEATボタン  
タッチするたびに、一曲リPEAT、フォルダリPEAT、全リPEATの切り替えができます。
- 17 ランダムボタン  
タッチするとランダム ON になり、トラックのランダム再生が開始されます。もう一度タッチすると、ランダム再生を解除します。
- 18 クイックサーチボタン  
タッチすると、ダイレクト検索ができます。再生したいトラック番号を入力して「決定」ボタンをタッチすると、指定したトラックを再生します。検索をやめて前の画面に戻りたい場合、左下の「戻る」ボタンをタッチしてください。
- 19 ミュートボタン  
タッチすると、ミュートします。

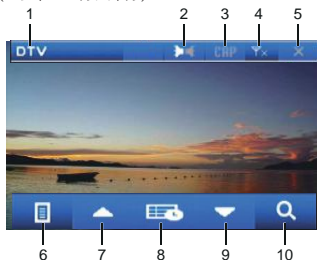
## DTV の使い方

### DTV の基本画面

メインメニューの「DTV」ボタンをタッチして、DTV の基本画面に入ります。  
DTV 信号がない場合は、「受信できません」と表示されます。

- チャンネルスキャンについて  
初めてテレビの機能をご使用になる場合は、チャンネルスキャンの実行が必要となります。また、以下の場合においてもスキャン実行が必要となります。
  - ・ テレビ設定の初期化を行った場合
  - ・ 別のエリアに移動した場合
- コントロールパネルについて  
操作をしない状態が約5秒続くと、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。画面をタッチすると画面の上下に青帯のコントロールパネルが表示されます。
- 走行規制について  
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

DTV の基本画面（コントロールパネル）



- 1 モード表示  
モードが表示されています。
- 2 音声ボタン  
番組に複数の音声がある場合に主音声 (M) / 副音声 (S) を切り替えることができます。  
※切替の内容や順序等は放送している番組によって異なります。  
(工場出荷時：主音声)
- 3 字幕ボタン  
番組に複数の字幕がある場合に字幕の ON/OFF を切り替えることができます。  
※切替の内容や順序等は放送している番組によって異なります  
(工場出荷時：OFF)

## DTV の使い方(つづき)

---

- 4 受信感度表示  
現在受信しているチャンネルの感度が表示されます。
- 5 タッチすると、テレビモードからメインメニューに戻ります。
- 6 チャンネルリストボタン  
タッチすると、現在受信しているチャンネルリストが表示されます。▲ボタンまたは▼ボタンでチャンネルを選択してから▶ボタンをタッチして、左側のウィンドウで再生します。◀ボタンをタッチすると、DTVの基本画面に戻ります。  
チャンネルを2回タッチして、◀ボタンをタッチすると、DTVの基本画面に戻ります。チャンネルリストを直接タッチして選択することも可能です。
- 7 9 CH-/CH+ボタン  
DTVを受信する時、▲ボタンまたは▼ボタンをタッチすると、前/次のチャンネルに切り替えます。
- 8 メニューボタン  
タッチすると、DTVのメニューが表示されます。DTVのメニュー画面の内容はP29を参照してください。
- 10 スキャンボタン  
タッチすると、スキャン画面が表示されます。スキャン方法をタッチして選択します。或いは▲ボタンまたは▼ボタンをタッチして、スキャン方法を選択します。スキャン方法をタッチしてから、⊗ボタンをタッチしてスキャンします。  
自動検索：全チャンネルを自動的に検索します。検索中に||ボタンをタッチすると、自動検索は一時停止/継続します。◀ボタンをタッチすると、DTV基本画面に戻ります。  
チャンネル選択：見たいチャンネルをタッチして選択してから⊗ボタンをタッチすると、スキャンします。▲ボタンまたは▼ボタンをタッチして、チャンネル選択もできます。||ボタンをタッチすると、自動検索は一時停止/継続します。◀ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。


## DTV の使い方(つづき)

### DTV のメニュー画面


DTV の基本画面で、メニューボタンをタッチすると、DTV のメニュー画面が表示されます。



#### 1 番組表ボタン

2回タッチすると、現在受信中のチャンネル番組表一覧が表示されます。選択できた後、 ボタンをタッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

 ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。

※1回タッチしてから、 ボタンをタッチすると、現在受信中のチャンネル番組表一覧も表示されます。

#### 2 設定ボタン

2回タッチすると、DTV の設定画面が表示されます。



※1回タッチしてから、 ボタンをタッチすると、設定画面も表示されます。

DTV の設定画面



## DTV の使い方(つづき)

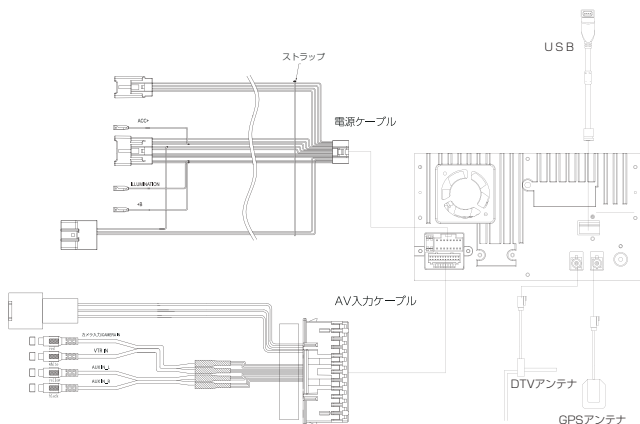
---

- 2.1 言語  
▼ボタンまたは▲ボタンをタッチして、言語が切り替わります  
※言語：English、日本語
  - 2.2 初期化  
 ボタンをタッチすると、初期化します。
  - 2.3 アップグレード  
本機ではアップグレードすることはありません。  
アップグレードボタンはタッチしないで下さい。
  - 2.4/2.6 タッチすると、設定項目が切り替わります。  
※設定項目：言語、初期化、アップグレード
  - 2.5 確認ボタン  
タッチすると、直前の操作を行います。
  - 2.7 戻るボタン  
タッチすると、ワンセグの設定画面に戻ります。
- 3 システム情報  
タッチすると、システム情報が表示されます。  
 ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。
- 4 スキャンボタン  
スキャンについての内容は P28 を参照してください。
- 5 選択ボタン  
▲または▼をタッチすると、選択します。
- 6 確認ボタン  
タッチすると、選択された項目の画面に入ります。
- 7 戻るボタン  
タッチすると、前の画面に戻ります。

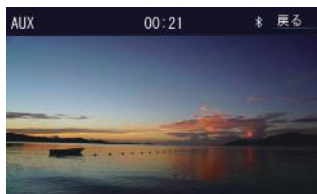


## 外部入力の使い方

付属の AV ケーブルを利用して、外部機器のビデオを本機で再生できます。  
下記の電源、AV ケーブルの接続図を参考にし、本機にケーブルを挿し込みます。  
その後、「カメラ入力/CAMERA IN」「VTR IN」「AUX IN\_L」「AUX IN\_R」の四本のケーブルで外部機器を本機に接続します。



表示画面例



## ステアリングスイッチの使い方

メインメニューで「設定」ボタンをタッチして、本体設定画面が表示されます。本体設定画面で「その他」ボタンをタッチして、右側にリストが表示されます。リストで「ステアリングスイッチ」の右の「設定」ボタンをタッチすると、ステアリングスイッチの設定画面に入ります。

ステアリングスイッチの動作を手動で機能を割り当て、本機に記憶させることができます

ステアリングスイッチの設定画面



- 1 時刻表示**  
現在の時刻が表示されます。
- 2 戻るボタン**  
タッチすると、メインメニューに戻ります。
- 3 状態/手順表示**  
ステアリングスイッチを設定していない場合、「ステアリングスイッチ OFF」という状態を表示します。「開始」ボタンをタッチすると、手順を表示します。
- 4 戻るボタン**  
タッチすると、前の画面に戻ります。
- 5 開始ボタン**  
タッチすると、ステアリングスイッチの設定を開始します。手順に従って設定してください。  
設定手順
  - ① 本機をステアリングコントロール線に接続します。
  - ② ステアリングスイッチ設定画面に入ります。
  - ③ 「開始」ボタンをタッチすると、機能ボタンが明るく表示されます。
  - ④ 画面で表示された手順に従って、設定したい機能のボタンを画面でタッチします。
  - ⑤ 画面で表示された手順に従って、ステアリング側で対応しているボタンを押します。
  - ⑥ 設定が完了します。

## ステアリングスイッチの使い方(つづき)

---

- 6 完了ボタン  
ステアリングスイッチ設定が完了してからタッチすると、設定できた機能のボタンが表示されます。
  - 7 初期化ボタン  
タッチすると、ステアリングスイッチが OFF になります。
  - 8 注意表示  
注意を促す内容が表示されます。
  - 9 機能ボタン表示  
ステアリングスイッチ設定可能な機能ボタンが表示されます。
- ※ ステアリングスイッチは最大 8 個の機能を設定できます。先程の設定方法に従いそれぞれ設定してください。
- ※ 設定を間違えた場合には、「開始」ボタンを再度押しははじめてから設定してください。

 **ご注意**

※ 車種により対応できないキーがあります。

## Bluetooth の使い方

Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器通して通信ができます。本機では、Bluetooth に対応する携帯電話及びオーディオ機器を接続して利用できます。利用するには本機に登録（ペアリング）する必要があります。

### Bluetooth デバイスの接続手順

初めて Bluetooth 対応携帯及びオーディオ機器を利用する時は、本機とペアリングする必要があります。

- ① メインメニューで「Bluetooth」ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。
- ② ペアリングしたい Bluetooth デバイスの Bluetooth 設定を ON にして、本機を検索します。（本機型番：SL1118NVW）
- ③ Bluetooth モードで「デバイス」ボタンをタッチして、右側の画面に「追加」ボタンがあります。「追加」ボタンをタッチすると、本機で Bluetooth デバイスを検索します。
- ④ 本機で Bluetooth デバイス名が表示されてから、デバイス名を選択してペアリングボタンをタッチします。
- ⑤ ペアリングボタンをタッチしてからペアリングを開始します。本機側の指示に従い、パスワードを入力します。ペアリングできた後、「決定」ボタンをタッチすると、ペアリング成功画面に切り替えます。

ペアリング画面



- 1 タッチすると、前の画面に戻ります。
- 2 タッチすると、ペアリングをやり直します。
- 3 ペアリングボタン  
タッチすると、ペアリングを開始します。

## Bluetooth の使い方(つづき)

---

ペアリング成功画面



### ⚠️ ご注意

- ※Bluetooth デバイスが初めて本機を検索する時には時間がかかります。
- ※本機は一部の Bluetooth オーディオプレーヤーでは正しく動作できない場合があります。
- ※本機と携帯電話との互換性については保証いたしかねます。

## Bluetooth の使い方(つづき)

### Bluetoothデバイスの削除手順

接続画面で「削除」ボタンをタッチすると、デバイスの接続を解除します。

#### ⚠️ ご注意

- ※ 携帯電話の機種によっては、パスコードの入力が必要になります。
- ※ 機種によっては、本機に入力したパスコードと携帯電話側のパスコードが同一かを確認する画面が表示されます。  
その場合は、画面に従って操作してください。
- ※ 本機では、最大5台登録 [ペアリング] することができます。
- ※ 本機と Bluetooth デバイスの接続範囲は約 5 m です。
- ※ 接続する携帯電話によっては、正しく通話できないことがあります。

### Bluetooth 電話を掛ける(発信)

番号入力、電話帳、履歴を利用して、本機から電話を発信することができます。

#### 番号入力

メインメニューで Bluetooth ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。  
Bluetooth モードで「番号入力」をタッチすると、10 キーパッド画面が表示されます。

10 キーパッド画面



## Bluetooth の使い方(つづき)

- 1 Bluetooth モードのメニュー
- 2 10 キーパッド
- 3 発信ボタン

電話番号入力後、このボタンをタッチして発信します。表示された発信画面で終話ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。電話発信して、通信状態になると、通話画面に切り替わります。

通話画面



- 3.1 マイク音量ボタン  
タッチすると、音量を調整できます。「+」ボタンまたは「-」ボタンをタッチしてこちらの音量を調整します。
- 3.2 通話中の情報を表示します。
- 3.3 10 キーパッドを表示します。
- 3.4 消音ボタン  
タッチすると、本機のマイクをミュートします。相手はこちらの音が聞こえなくなります。
- 3.5 ハンズフリーを止めます。
- 3.6 終話ボタン  
タッチすると通話を終了します。

### 電話帳

メインメニューで「Bluetooth」ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。Bluetooth モードで「電話帳」をタッチすると、接続中の携帯電話に保存されている電話番号リストが表示されます。

人名や番号をタッチして、表示される番号をタッチすると、発信します。

※電話帳の並びは必ずしも携帯電話と同じ並びにはなりませんのでご注意ください。

## Bluetooth の使い方(つづき)

---

### 履歴

メインメニューで「Bluetooth」ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。Bluetooth モードで「履歴」をタッチすると、接続中の携帯電話に、保存されている通話履歴（不在着信/ 着信履歴/ 発信履歴）が表示されます。ダイヤルしたい相手先をタッチして発信します。

### 電話を受ける(着信)

本機は携帯電話とペアリングしている状態で着信をした場合、着信中の画面になります。Bluetooth 設定画面で自動応答を ON に設定すると、着信の約 5 秒後に自動的に応答することができます。

通話を開始すると、通話画面(P37 を参照してください) に入ります。



## Bluetooth の使い方(つづき)

### Bluetooth AUDIOモード

ペアリングが完了したあと、Bluetooth モード画面で「Bluetooth AUDIO」ボタンをタッチすると Bluetooth AUDIO モードに入ります。

Bluetooth AUDIO モード画面



- 1 情報表示**  
再生中のトラック情報が表示されます。  
※接続しているデバイスによっては、正しく表示されない場合もあります。
- 2 前へボタン**  
タッチすると、前の曲に戻ります。
- 3 再生/一時停止ボタン**  
再生中にタッチすると一時停止になります。再度タッチすると再生になります。
- 4 次へボタン**  
タッチすると、次の曲に進みます。

## Bluetooth の使い方(つづき)

### Bluetooth 設定画面

Bluetooth モードの画面で「Bluetooth 設定」ボタンをタッチすると、Bluetooth 設定画面が表示されます。

Bluetooth 設定画面



- 1 自動応答ボタン  
タッチするたびに、自動応答をオン/オフ設定します。  
(工場出荷時：OFF)
- 2 自動接続ボタン  
接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機が自動的に Bluetooth デバイスへの再接続を実行します。(工場出荷時：ON)
- 3 マイク音量ボタン  
本機のマイクの音量を調整します。

#### ⚠️ ご注意

※ 本機のスピーカー音量を調整する機能ではありません。本機のスピーカー音量を調整する時は、音量調整ボタンを使ってください。

- 4 バージョン  
Bluetooth のバージョン情報を表示します。

## バージョンアップについて

### 本機のソフトウェアをバージョンアップする

#### ご注意

※ バージョンアップ中は電源を切らないでください。電源を切った場合は正常にバージョンアップできない可能性があります。また、その際正常動作しなくなるおそれがあります。

### アプリケーションのバージョンアップ

- ① 新しいソフトウェア「SW\_Update」ファイルを空の microSD カードのルートにコピーします。
- ② ソフトウェアが格納された microSD カードを本機の microSD カードの挿入口に差し込みます。  
※地図専用 microSD は無くさないように保管ください。
- ③ 本機を起動します。
- ④ 画面の説明に従って操作します。
- ⑤ バージョンアップした後、タッチパネル補正します。
- ⑥ タッチパネル補正が完了してから、本機は自動的に再起動します。
- ⑦ タッチパネル補正の操作方法は P20 を参照してください。

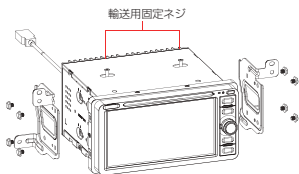
### 本機のOS(オペレーティングシステム)をバージョンアップする

- ① 新しいソフトウェア「SPA6BASE」ファイルを空の microSD カードのルートにコピーします。
- ② ソフトウェアが格納された microSD カードを本機の microSD カードの挿入口に差し込みます。
- ③ 本機を起動します。
- ④ 自動的にバージョンアップします。
- ⑤ バージョンアップした後、本機は自動的に再起動します。

## お手入れ/ご注意

### 本機について

- 取り付け前に輸送用固定ネジ2か所を外してください。
- 車両に付属するブラケットのネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の固定用ネジで取り付けてください。
- 車両の元の位置に取り付けてください。  
※フェイスパネル、ブラケットの形状によっては、付属のネジで取り付けられないことがあります。  
※取り付けは水平に対して、-5度～20度までの角度にて取り付けをお願いします。
- タッチパネルは傷がつきやすいので、ご注意ください。汚れをおとすときは、柔らかい布(シリコンクロスなど)で軽く押さえるようにして拭いてください。汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。



### GPS アンテナについて

GPSアンテナは車内専用となります。

GPSアンテナは車載機器(※1)および各アンテナ類(※2)から50cm以上離して設置してください。車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。

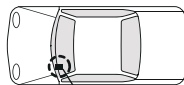
※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど

※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど

- 取り付け前に、必ずGPSアンテナ裏面の両面テープを剥がしてください。
- 取り付け面の汚れ、油などをふきとってください。
- アンテナは電波の遮られにくい水平な場所に設置してください。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作不良へつながり、再使用もできません。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。



電波の遮られにくい、平らな場所に設置してください。



推奨取り付け位置

## お手入れ/ご注意 (つづき)

### DISC について

- DISC を挿入する際は、斜め上から少し角度（7°）をつけた状態で挿入して下さい。機構上、水平では挿入できません。
- うまく入らない場合は無理に入れず角度を調整して再度入れなおして下さい。

### バックカメラについて

- バックカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用して下さい。
- ディスプレイだけを見ながら後退することは、絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認して下さい。
- バックカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた映像です。また、車により見え方が異なります。十分にご注意ください。

### DTV アンテナについて

次のようなところでは、受信しにくいまたは受信しないことがあります

- ビルとビルの間に停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近
- テレビ局の電波塔から遠いところ
- 山かげや木立の陰
- トンネル内や鉄橋
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。  
※ 電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

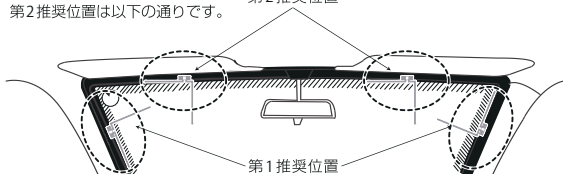
### 貼り付ける際の注意点

- フィルムアンテナ、アンブ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカー剥がし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 一度貼り付けると、エレメントの素子破損や粘着力が低下するため、貼り直しできません。アンテナを貼る前に必ずコード及びアンテナを仮止めし、コードの引きまわしなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置、寸法内に正しく貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。

## お手入れ/ご注意 (つづき)

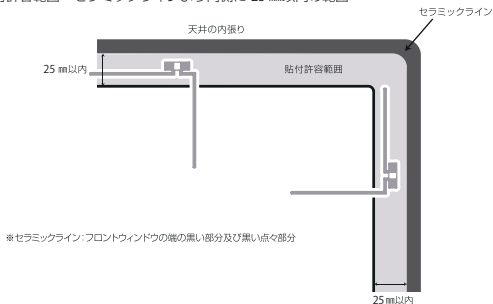
- フロントウィンドウ（内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油など）や、くもり止めや水分などをアルコール等できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは貼り付けしないでください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フィルムアンテナやはくり紙などを剥がした面には手で触れないでください。また長時間の放置はしないでください。汚れや汗または静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなる場合があります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。
- アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- 受信感度低下を防ぐために、他のアンテナや ETC 受光部から 2 センチ以上離して貼り付けてください。
- アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックライン上または、内張りに重ならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

第1推奨位置は以下の通りです。 第2推奨位置  
第2推奨位置は以下の通りです。



- 貼付許容範囲  
フィルムアンテナの給電部及びアンプ部は、必ず許容範囲内に貼り付けてください。

貼付許容範囲：セラミックラインより内側に 25 mm 以内の範囲



## 再生できるディスクとメディアファイル仕様について

### 再生できるディスクとファイル

本機では、以下のマークのある市販ディスクとメディアファイルを再生できます。



### 再生できるディスク/再生できないディスク

本機で再生できるディスクは○がついたものだけです。

ディスク	再生可否	再生できる条件など
市販の音楽CD	○	
市販のCD-TEXT	○	
CD-R	○	以下のディスクが再生できます
CD-RW	○	MP3/WMAのファイル形式で記録したディスク 但し以下のディスクは再生できません
CD-ROM	○	バケットライト方式で記録されたディスク
CD-Extra	○	オーディオセッションのみ再生できます。 Data セッションが2セッション以上 記録されている個人が作成したディスクは再生できません
HDCD	○	通常の音楽CDの音質で再生します。
Super Audio CD	X	
8cm CD	X	
コピーガード付きCD	X	
DTS CD	X	
ビデオCD	X	
MIX MODE CD	X	
CCCD	X	
フォトCD	X	
デュアルディスク	X	

○：再生できます。(条件つき再生を含む)

X：再生できません。

### ⚠️ ご注意

- ※ ファイナライズ処理されていない「CD-R」「CD-RW」ディスクは、再生するまでの時間が長くなります。また、記録状態によっては再生できない場合もあります。
- ※ ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフト、レコーダーのマニュアルをご覧ください。
- ※ ノンストップで記録された音楽CD/CD-TEXTの場合、曲間でミュートされることがあります。
- ※ 傷がついているディスク、ソリが大きいディスク、汚れ/ほこりが付着しているディスクは、再生できない場合もあります。

## 対応Bluetooth®仕様/ファイルについて

### ハンズフリー

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.4.0
プロファイル	・ HFP Ver1.5 (Hands Free Profile)
	・ OPP Ver 1.2
	・ PBAP Ver.1.1
	(Phone Book Access Profile)

### Bluetooth® Audio

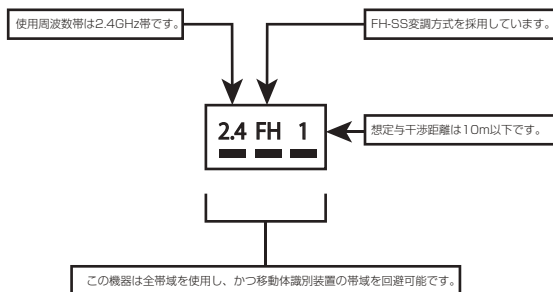
Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.4.0
プロファイル	・ A2DP Ver1.2 (Advanced Audio Distribution Profile)
	・ AVRCP Ver.1.5
	(Audio/Video Remote control Profile)



## 対応Bluetooth®仕様/ファイルについて (つづき)

### Bluetooth® 認可

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。(上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します)この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。



- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。本機に貼り付けてある以下のマークがあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。



## 仕様書

品名	6.75インチAV一体型メモリーナビゲーション
型番	SL1118NVW
ディスプレイ	6.75型TFT LCD LED/バックライト 解像度800×480RGB (WVGA)
microSDカード	地図専用
FM/AM受信周波数	FM:76MHz～95MHz AM:522kHz～1629kHz
USB	2.0AUDIOのみ (MAX.:32GB 対応)
使用電源	DC12V (10.8V - 16V)
最大出力	45W×4
スピーカーインピーダンス	4Ω
動作温度範囲	-20℃～+70℃
AV IN/OUT	AV IN 1系統
寸法	約197×100×163mm
本体重量	約 2.2 Kg
マルチメディア	
Audio	MP3/WMA
Bluetooth	4.0
対応ディスク	CD-R/CD-RW
付属品	
取扱説明書(本体)	○
取扱説明書(ナビ専用)	○
電源ケーブル	○
AV入力ケーブル	○
GPSアンテナ	○
GPSアンテナ固定用両面テープ	○
DTVアンテナ	○
地図専用 microSDカード	○
取り付けネジ	○
保証書	○

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

## Q&amp;A索引

## 一般項目

**Q1：電源が入らない**

A1：電源ケーブルは正しく接続されていますか？

配線を確認してください ----- —

ヒューズは切れていませんか？

ヒューズを交換してください（15A） ----- —

他の機器のノイズを受けていませんか？

本機から他の機器を離してください ----- —

**Q2：タッチパネルが反応しない 反応がわるい**

A2：タッチパネルの補正は行いましたか？

タッチパネル補正を行ってください ----- 20

**Q3：再生できない**

A3：ディスクが汚れていませんか？

ディスクをクリーニングしてください ----- —

この機器に対応したディスクですか？

ディスクを確認してください ----- 45

ディスクが正しく挿入されていますか？

ディスクの向きを確認してください ----- —

**Q4：音が出ない**

A4：ミュートになっていませんか？

ミュートを解除してください ----- —

正しく配線されていますか？

配線を確認してください ----- —

**Q5：音量が小さい**

A5：ボリュームが小さく設定されていませんか？

音量を上げてください ----- 10

**Q6：前または後ろのスピーカー から音が出ない**

A6：前後のバランスは0になっていますか？

セットアップ項目からスピーカーのバランスを確認してください ----- 17

**Q7：左または右のスピーカー から音が出ない**

A7：左右のバランスは0になっていますか？

セットアップ項目からスピーカーのバランスを確認してください ----- 17

## 索引(つづき)

### Q8：液晶のドット欠け

A8：液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや 常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。 -----

### FM/AM

#### Q1：電波が受信できない

A1：アンテナは接続されていますか？ オートアンテナ電源は接続されていますか？  
アンテナの接続をご確認ください。 -----

LOC/DX 機能は設定しましたか？

DX を選択してください ----- 22

### DISC/USB AUDIO

#### Q1：再生できない

A1：メニュー画面でチャプター選択の画面ではないですか？  
チャプターを選択してください -----

#### Q2：音が出ない

A2：ボリュームが小さく設定されていませんか？

ボリュームを上げてください ----- 10

ミュートになっていませんか？

ミュートを解除してください ----- 22/26

#### Q3：ディスク再生中ノイズが大きい・回転音が大きい

A3：ディスクに傷や曲がりはないですか？

ディスクは汚れていませんか？

ディスクは本機に対応していますか？

ディスクを交換、確認してください -----

#### Q4：MP3 再生中、ノイズが大きい・再生できない

A4：MP3ファイルが対応のフォーマットのものかご確認ください。

圧縮は正しく行われていますか？

フォーマットを確認してください ----- 45

#### Q5：メディア再生中、順番が異なる

A5：ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？

ファイル名を確認してください -----

### Bluetooth

**Q1 : Bluetooth 対応デバイス接続後に音質が悪くなった**

A1 : Bluetooth 通信の状態は良いですか？

デバイスを本機の近くに移動してください。-----  
障害物を取り除いてください -----

**Q2 : ペアリングできない**

A2 : デバイスが本機に必要なプロファイルをサポートしていますか？

他のデバイスを接続してください ----- 46

デバイスの Bluetooth 機能が有効になっていますか？

デバイスの Bluetooth 機能をオンにしてください ----- 34

本機の Bluetooth 機能がオンになっていますか？

本機の Bluetooth 機能をオンにしてください ----- 34

※ Bluetooth は小電力で通信するシステムですので、外部からの影響を受けやすいです。  
スキャンとペアリングを繰り返すと、状況が改善することがあります。

## 索引 (つづき)

### 本書索引

#### 五十音順

##### ア

安全上のご注意	1
音楽 DISC プレーヤーの使い方	23
お手入れ/ご注意	42
本機について	42
バックカメラについて	43

##### カ

外部入力の使い方	31
----------	----

##### サ

ステアリングスイッチの使い方	32
仕様書	48

##### タ

対応 Bluetooth® 仕様/ファイルについて	46
---------------------------	----

##### ハ

本書の見方	4
本機について	6
同梱リスト	6
地図用 microSD カードについての注意事項	8
パネルについて	9
電源の ON/OFF	11
MENU 画面の基本操作	11
本機の設定	14
バージョンアップについて	41
再生できるディスクとメディアファイル仕様について	45
本書の索引	49

##### ラ

ジオの使い方	21
--------	----

## 索引 (つづき)

---

---

### 本書索引

#### アルファベット順

##### B

Bluetooth の使い方 ..... 34

##### D

DISC について ..... 43

DTV アンテナについて ..... 43

##### G

GPSアンテナについて ..... 42

##### Q

Q&A 索引 ..... 49

##### U

USB メモリの使い方 ..... 25

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、  
お買い上げの販売店までお願い致します。



SOLING JAPAN 株式会社